

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～27℃台を示し、平年並みの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の6倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり46kgの水揚げで、前週の3.3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり689kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網――北松生月地区では、シイラなどが1日1統当たり1.4トンの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり86kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり336kgの水揚げで、前週の4.8倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり11kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- トビウオ船曳網――北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり575kgの水揚げで、前週の58%（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/25日～9/30日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（大和堆付近）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-29号 壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>